

2009年12月7日

報道関係各位

## 2009年バンテックグループの主なトピックス

### ● 新生バンテック始動-代表取締役社長に山田敏晴が就任(4月)

4月1日付でバンテック・グループ・ホールディングスがバンテック、バンテック ワールド トランスポートを吸収合併。社名を株式会社バンテックに変更し、代表取締役社長に山田敏晴が就任した。コントラクトロジとフォワーディングの融合(ハイブリッド)の特色を最大限に活用する“グローバルSCMサービス企業”の実現を目指すことを標榜。

### ● 経営管理基盤システム(SAP®ERP)を導入(4月)

会計情報と営業情報の一元管理することで、経営情報の可視化と経営判断の迅速化を目指し、経営管理基盤システム「SAP®ERP」を導入。2010年4月に本格導入予定。

### ● 更なる業務の効率化・組織の簡素化を図ることを目的として、グループ会社を再編(4月、8月)

4月1日付でバンテックゼットロジとVZ物流、バンテック首都圏ロジと湘南バンテックが合併。8月1日付で英国子会社であるバンテックヨーロッパと英国バンテックワールドトランスポートが合併。

### ● オランダバンテックワールドトランスポートがAEO資格を取得(6月)

オランダ法人であるオランダバンテックワールドトランスポートが、当社の現地法人として初めてAEO資格を取得。通関申告業務の簡素化、審査の迅速化などの優遇措置でお客様へのサービス向上を図る。

### ● 物流センターが各地にオープン(6月、7月、10月)

6月にバンテックグループ最大規模の九州第4物流センター(福岡県京都郡苅田町)、7月に武蔵嵐山物流センター(埼玉県比企郡嵐山町)、10月に原木第一物流センター(千葉県市川市)が竣工。

### ● バンテック戦略輸送システム(V-Cubic)が本格運用開始(8月)

これまでバンテックグループの事業所単位で運用されていた受注情報、配車情報を本社で一元的に管理・運用することで、運行台数の削減等による効率的な輸送の実現と同時に環境負荷の低減を目指す。

### ● 新型インフルエンザのパンデミックに備えた事業継続ワークショップを開催(10月)

新型インフルエンザの大流行(パンデミック)に備えた事業継続ワークショップを開催。緊急時の対応力を養うことが喫緊の最重要課題と認識し、今後も訓練を繰り返し、危機管理対応能力を高めていく。

この件に関する問い合わせ：株式会社バンテック 経営企画部  
佐藤または市川  
TEL : 045-410-0843